(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11)特許出願公表番号 特表2003-530904 (P2003-530904A)

(43)公表日 平成15年10月21日(2003.10.21)

(51) Int.Cl. ⁷		識別記号		FΙ			ភ	-7J-h* (参考)
A61F	13/496			A611	5 5/44		Н	3B029
	5/44				13/00		351F	4C098
	13/00	351		A411	3 13/02		V	
	13/15						J	
	13/49						K	
			家葡查審	未請求	予備審査請求	有	(全 35 頁)	最終頁に続く

(21)出願番号 特願2001-517987(P2001-517987) (86) (22)出顧日 平成12年8月23日(2000,8,23) (85) 翻訳文提出日 平成14年2月20日(2002.2.20) (86)国際出願番号 PCT/US00/23078 WO01/013845 (87) 国際公開番号 平成13年3月1日(2001.3.1) (87) 国際公開日 60/150, 327(31)優先権主張番号 (32)優先日 平成11年8月23日(1999.8.23) (33)優先権主張国 米国 (US) (31)優先權主張番号 09/637, 431 平成12年8月11日(2000.8.11) (32)優先日 (33)優先権主張国 米国(US)

(71)出願人 キンパリー クラーク ワールドワイド インコーポレイテッド アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 54956 ニーナ ノース レイク ストリ - ト 401 (72) 発明者 フレイパーガー サラ ジェイン マリー アメリカ合衆国 ウィスコンシン州

54130 コーコーナ ウェルハウス ドラ イヴ 2708

(74)代理人 弁理士 中村 稔 (外9名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 再装着可能な吸収体物品

(57)【要約】

前部、背部、及び股部を有する再接着可能な吸収体物品 が開示される。股部は、前部を背部に接合する。前部 は、第1端と、第2端と、第1及び第2側縁を含む中央 区域とを有する。第1及び第2横区域は、中央区域に取 り外し可能に取り付けられ、各横区域は、外縁を有す る。前部はまた、第1端及び第2端を有する。股部は、 第1個縁及び第2側縁を有し、第1及び第2股弾性体 は、第1及び第2側縁と隣接して配置される。背部は、 第1端と、第2端と、第1及び第2側縁を有する。背部 は、第1区域と第2区域に分けられる。第1区域は、背 部の第1端からそれらと平行に引かれた線まで垂直に測 定された長さし2を有する。第2区域は、第2端から第 1端に対して平行に引かれた線まで垂直に測定された長 さし。を有する。第2区域は、第1側縁及び第2側縁 と、第1面積A₁及び第2面積A₄を有する。吸収体物品 は、約1.5から約5.0の間の範囲の比A1/A1を有 する。

